

特集

地域医療に「3つの偏在」 解消へ国が具体策、都道府県の役割重要に

10

2	三神万里子の直言
4	ニュース & インサイド
7	霞が関 底流伏流（経済産業省） 結論が見え、影薄い情勢懇 原発利用、幅広い議論欠く
8	自治体に迫る危機 樋渡流解決策 子どもの貧困対策に多くの課題
28	グローバルインタビュー 長野県立大学学長予定者 金田一 真澄氏
31	観光再生戦略 渡辺 清一郎氏 大阪の宿泊、早くも供給過剰の懸念
32	フォーカス 卸売市場の再編加速へ
38	地方創生の旗手 ブナコ社長 倉田 昌直氏
40	新・奮闘地方議員 埼玉県八潮市議会議員 朝田 和宏氏
42	自治体財務改革 基本と実践 稲沢 克祐氏 予算審議⑤ 予算と施設マネジメントの連動を
44	自治体経営を考える 平嶋 彰英氏 地方創生は多文化共生が鍵に
46	一枚の絵にみる地方の昨日、今日、明日 藤波 匠氏 農業基本法の功罪
48	人材ビッグバンのススメ 神門 善久氏 返還50年 小笠原農業を見る（3）

50	これからの都市防災 廣井 悠氏 巨大災害時の広域避難行動④
52	課題解決型組織のつくり方 出馬 幹也氏 生産性向上のキーパーソン
54	Interview 首長 東京都武蔵野市長 松下 玲子氏
55	ニュース・ウォッチング
60	Book Review/バックステージ



〈表紙の写真〉埼玉県では患者と同じ症状示す人形使い医師らが研修

埼玉県は2017年4月、「埼玉県総合医局機構地域医療教育センター」をさいたま新都心に開設した。大学病院と同様の研修環境や設備を備え、医療関係者のスキルアップにつなげ

る狙い。特に産婦人科、小児科、救急科の医師不足に直面しているため、この3科の教育・研修を重視する。

埼玉県産婦人科医会は昨年11月、妊婦が出産後に大量出血しショック

状態になったという想定で研修を開いた。人形が実際の患者同様の症状を示し、参加した医師らは真剣なまなざしで取り組んだ。（文＝竹内太郎、写真＝同産婦人科医会提供）